

CULTURAL SURFING

IT、歴史、アニメ・漫画、ポップカルチャー、異文化交流の波に乗って生きる。



2017年度国際交流基金賞受賞 フレデリック・L・シヨット講演会

10²⁰¹⁷ / 20^{FRI}

14:00開演(13:30開場)

■日本記者クラブ 10階ホール

〒100-0011 東京都千代田区内幸町 2-2-1

講演者 / フレデリック・L・シヨット
(作家、翻訳家、通訳者)

モデレーター / 椎名 ゆかり
(海外コミック翻訳者、東京藝術大学非常勤講師)

申し込み期限 10/11(水)

以下のウェブサイトより申し込みいただけます。
<http://www.jpf.go.jp/j/about/award/index.html>

主催 / 独立行政法人 国際交流基金

参加費
無料



JAPAN FOUNDATION

*講演会終了後に、講師との交流会を予定しています。

軽食付、無料

CULTURAL SURFING

カルチュラル・サーフィン

IT、歴史、アニメ・漫画、ポップカルチャー、異文化交流の波に乗って生きる。

国際交流基金では、1973年以来毎年、学術、芸術などの文化活動を通じて、日本と海外の相互理解の促進に長年にわたり顕著な貢献のあった個人または団体に対し、「国際交流基金賞」を授賞しています。2017年度の受賞者の一人として、日本の漫画を米国および世界で広め、漫画翻訳のパイオニアとして多面的な文化交流に貢献してきた、作家、翻訳家、通訳者のフレデリック・L・ショット氏が選ばれました。この度、ショット氏の国際交流基金賞受賞を記念して、本講演会を開催いたします。

ショット氏は、手塚治虫、池田理代子、松本零士、士郎正宗など、多くの日本の漫画家の作品を翻訳し、また日本の漫画についての著作を世に送り出してきました。その一方で、幕末にアメリカの興行師によって作られた日本の曲芸団を調査した著作、『Professor Risley and the Imperial Japanese Troupe』など、これまで過小評価されてきた表現分野にも、関心を持ち続けておられます。40年以上にわたり、日米間のカルチュラル・サーフィンを続けてきたショット氏の視点で、ポップカルチャーから歴史まで、幅広いテーマで異文化交流について語っていただきます！モデレーターとして、海外コミック翻訳者、東京藝術大学非常勤講師の椎名ゆかり氏も登壇予定です。またとない機会、ぜひご参加下さい。

フレデリック・L・ショット (作家、翻訳家、通訳者)

1950年米国生まれ(67歳)。国際基督教大学留学中の1970年頃、日本のマンガにはまり、1977年以降、手塚治虫の『鉄腕アトム』をはじめ、池田理代子、松本零士、士郎正宗、星野之宣、浦沢直樹等、数多くの日本の漫画家の作品を翻訳・共訳し、著作、講演、通訳などを通して海外への普及に貢献。昨今の米国におけるマンガ・ブームの火付け役となった。その功績を称えられ、2000年に、第4回手塚治虫文化賞特別賞、2009年には、旭日小綬章を受賞。近訳に『手塚治虫物語』(英題: The OSAMU TEZUKA Story: A Life in Manga and Anime)。

モデレーター / 椎名 ゆかり (海外コミック翻訳者、 東京藝術大学非常勤講師)

海外コミック翻訳者、東京藝術大学非常勤講師(マンガ文化論)。米オハイオ州ポーリンググリーン州立大学院ポピュラーカルチャー専攻修士課程修了。北米のコミックスと海外における日本マンガの受容を主なテーマに執筆活動を展開。2011年から3年間、文化庁芸術文化課マンガ研究補佐員を務めた。訳書に『ファン・ホーム ある家族の悲喜劇』(第15回文化庁メディア芸術祭マンガ部門優秀賞受賞)、『ブラックホール』『サーガ』など。

事務局情報

国際交流基金賞事務局
(株式会社ステージ内)
TEL / 03-3554-5163
FAX / 03-5966-5773
Mail / jf-award2017@stage.ac

